

会 議 記 録				
会議の名称	議会運営委員会			会議場所 全員協議会室 担当職員 小野
日 時	令和7年9月24日（水曜日）			開 議 午後2時00分 閉 議 午後3時17分
出席委員	◎平本 ○松山 小林 富谷 三上 木村 福井 （委員外議員）竹内、梅本 <小川議長、大塚副議長>			
執行機関 出席者	【市長公室】 [広報プロモーション課] 眞里谷課長、梁川シティプロモーション係長			
事務局 出席者	吉田事務局長、小川次長、野澤副課長兼総務係長事務取扱、小野議事調査係長、 上西主査、田中主事			
傍 聴	可	市民1名	報道関係者1名	議員12名（大西、林、法貴、片山、 山木、竹内、梅本、浅田 大石、山本、土岐、菱田）

## 会 議 の 概 要

14:00

[平本委員長 開議]

### 1 人権擁護委員候補者の推薦について

[事務局長 説明]

<平本委員長>

人権擁護委員候補者の推薦については、幹事会で説明があったとおりであるので確認願う。

—全員了—

### 2 附帯決議案について

[事務局長 説明]

<平本委員長>

この附帯決議は、福井議員、松山議員と私から提出したものであるが、発議者はどのようにするか意見はあるか。

<福井委員>

発議者となる。

<松山委員>

発議者となる。

<平本委員長>

私も発議者となるため、発議者は提出者である3人ということでよいか。

—全員了—

### 3 9月議会最終日（9月25日）の日程等について

（1）会議予定（午前10時～）

<平本委員長>

9月議会最終日（9月25日）については、まず午前10時から3常任委員会で委員長報告の確認等、その後決算分科会委員長会議、議運事前調整をはさみ、議会運営委員会、会派会議までを午前中に終えたいと思っている。その後、午後1時30

分を目途に本会議を再開することで予定している。また、本会議終了後に議長記者会見と広報部会・広聴部会を開催いただく。このような日程で各会議等を進めていくことでよいか。

—全員了—

## (2) 議事日程

[事務局長 説明]

<平本委員長>

9月議会最終日当日の議事日程については、日程第1で第1号議案から第59号議案について、委員長報告から表決まで、日程第2で附帯決議案について、質疑、討論、表決、日程第3で人権擁護委員候補者の推薦についての表決、日程第4で議員の派遣についての表決を予定している。討論通告期限は本日午後4時であるので承知願う。このようなことで確認いただきたいがよいか。

—全員了—

## (3) 修正案

[事務局長 説明]

<平本委員長>

この修正案は、大西議員、片山議員、三上議員から提出されたものであるが、発議者はどのようにするか意見はあるか。

<三上委員>

共産党議員団である、私と片山議員、大西議員の連名で発議したい。

<平本委員長>

発議者は共産党議員団の3人ということでよいか。

—全員了—

## (4) 日程第1の流れ

[事務局長 説明]

<平本委員長>

事務局説明のとおり進めていくことでよいか。

—全員了—

## (5) 討論通告期限

[事務局長 説明]

<平本委員長>

討論通告期限は、当初、本日午後4時を期限としていたが、この後に幹事会も開催され、会議終了時刻が午後4時以降になると思われるため、通告期限を幹事会が終了してから30分後としたいと思うがどうか。

—全員了—

## 4 議員の派遣について

(1) 京都府市議会議長会 副議長の派遣

(2) 総務文教常任委員会行政視察 議長の派遣

[事務局長 説明]

<平本委員長>

京都府市議会議長会に大塚副議長、総務文教常任委員会の行政視察に小川議長が参加されることから、会議規則第167条の規定に基づき議決することとなる。また、委員会委員については、会議規則第106条に規定する委員の派遣の手続きがなされるので承知いただきたいがよいか。

—全員了—

## 5 12月議会日程案について

[事務局長 説明]

12月議会の日程案として、【別紙No.4】のとおり進めることで確認いただきたい。あくまでも予定であり若干変更される場合もあるので承知願う。

—全員了—

## 6 会議等の日程について

[事務局長 説明]

<平本委員長>

明日、9月議会最終の議会運営委員会を開催するので確認願う。また、10月と11月に議会活性化の検討に係る議会運営委員会を行うこととしているので、よろしく願います。9月議会後の委員会等の日程について、それぞれ確認いただきたいがよいか。

—全員了—

## 7 意見交換

[事務局説明]

<平本委員長>

9月3日に開催した議会運営委員会で案内したとおり、市ホームページの更新について意見交換を行う。

[理事者入室] 広報プロモーション課

### (1) 市ホームページの更新について (市長公室)

14:26

<広報プロモーション課長>

市のホームページは、来年10月に更新となるため、今年度から検討を始め、今年度中にプロポーザル方式で業者を決定したいと考えている。現在、亀岡市のホームページは、ページ数が1万4,000ページあり、かなり多くなっている。リニューアルの内容としては、市民に対して見やすいページであること、また、市外に向けても魅力的であるページであることを重視している。ページの更新は、各担当部署が行っているため、担当者が操作しやすく、クオリティが平準化されるような使いやすいものである必要があると考えている。

<シティプロモーション係長>

ホームページを構築するにあたっては、これまで様々な意見を頂戴している。どれを優先してどのように進めるのか、判断が難しいと感じているのが正直なところである。現在は、定量的に情報を検証している段階であるが、具体的には、「アクセス

した人がどのような行動をされているのか」「どのような属性の方がおられるのか」というようなことを深掘りしている。昨年度は、市のホームページに約120万人の来訪者がおられ、年間で600万回以上閲覧されている。市民も重要であるが、市外の方も多く来訪されている。亀岡市民は約10%程度であり、その他の地域から見に来られている。また、デバイスについては、7割近い方がスマートフォンで来訪され、年代についても、若い方だけではなく、65歳以上の方も10%弱ぐらいはおられるため、文字が多すぎたり、PDF資料がそのまま載っていたりすると見にくいという問題があるため、スマートフォンでの閲覧をベースとしたリニューアルが必要であると考えている。ホームページは、全ての情報発信の最終目的地となる。SNSやプレスリリース、紙媒体など、様々な媒体からどのようにホームページに誘導するか、全体戦略の中で考えていく必要がある。トップページからの流入が最も多いが、キーワード検索などで直接ページに来る方も多いため、トップページだけではなく、中にある個々のページの質を保つことが大事である。検索されたキーワードは、入札関係（事業者向け）や会計年度職員の募集、採用といったものが多かった。その他、ごみ出しに関するページもよく見られている。これは、利用者が入ってもすぐには目的の情報にたどり着けていない可能性を示唆している。現状では確定ではないが、ホームページ構築の方向性案として2点考えている。1つは、トップページを市民向け、市外の方向け、事業者向けなど、明確に分けてしまう方がよいのではないかとということ。市民が知りたい情報が直感的に分かるようなアイコンなどを用いることが大事であると考えている。もう1つはAIチャットボットである。AIに尋ねれば、ホームページ内から質問にあった内容を検索してきてくれるような仕組みができれば、知りたい情報にすぐたどり着けると考える。また、個々のページの質を保つことについて、AIの力を使い、作成者側である職員が様々なページを整えていくという仕組みも検討したい。

<福井委員>

ホームページで申請書をダウンロードしようとして検索しても、なかなかたどり着けないことがある。特に、みこしの祭りの道路専用許可申請書などは、市民の立場から見ると、どれを提出するべきか分からない。そこでAIチャットボットが活躍してくれると大変ありがたい。

<広報プロモーション課長>

目的のページにたどり着きにくい部分があることは確かであり、また紙ベースで申請すること自体が、今の時代に合っていないと考えている。スマートフォンで見て、スマートフォンで申請できるというのが理想である。これに向け、情報政策課の方でDXも進めている。AIやLINEなどで、会話をするように申請ができる仕組み、例えば「何の申請ですか」と答えていくうちに目的の申請ができるような仕組みとすることも可能である。これは情報政策と一体となって検討していきたい。

<富谷委員>

本市の来訪者数などを示していただいたが、これは他の自治体と比較してどのような水準なのか。

<広報プロモーション課長>

具体的な数字は持ち合わせていないが、訪問者数は同程度の人口の市よりも多いと思っている。LINEの配信や広報活動に力を入れており、詳しい情報はホームページで見るという導線をつくっているため、ホームページ訪問者数は、昨年から相当増えている。

<松山副委員長>

現在、議会のページは、市のホームページの中に入っているような形であるが、今のままでは、議会のページだけが見劣りするような形にならないか。

<広報プロモーション課長>

今の議会のホームページは、亀岡市のホームページのサブページという形で設置している。ホームページを見ていただくためには導線が大事であると考えている。SNSなどで議会の情報が発信され、そこからホームページへ入って来られたとしても、見やすいページでないと離脱されてしまう。見やすいと思っていただけるようなホームページが必要である。もし今の業者のままであれば、このままサブページという形が続く。移住・定住の特設ページはサブページだが、お金をかけてデザインなどを含めて別で作っており、システム自体は一緒だが、見やすい状況になっている。次の10月に向けて予算化し、議会のホームページを見やすくすることは可能である。

<松山副委員長>

議会のサブページをより良いものにするためには、予算を投入してホームページの充実を図る必要があるという考え方でよいか。

<広報プロモーション課長>

そのとおりである。予算をかけないとなかなかよいものに仕上がらないのが現状である。サブページという考え方は今の業者の考え方であるため、違う業者になった時にそのまま残るかは不透明な部分もある。今のままとするのであれば、予算をかければ見やすい魅力的なページになる。一方で、ホームページだけではなく、SNSやプレスリリースをしっかりと行うなど、導線全体を改善する必要がある。YouTubeもタイトルや概要欄の工夫が必要であり、そういった工夫があれば、もっと詳しく情報が見たいとホームページに誘導することにつながると考える。

<福井委員>

議会のページを更新しているのは誰か。

<議事調査係長>

基本的に議会のページは事務局で更新している。

<福井委員>

情報発信で最も重要なのは即時性である。例えば、今日行っている会議の情報が明日更新されているとよい。しかし、それを誰がやるのかという問題がある。

<木村委員>

部署によって行事予定などの更新時期が異なり、古い情報が残っていることがある。これは各部署で更新されているのか、誰かが一括して管理しているのか。

<広報プロモーション課長>

ページの作成・更新は各部署で行っている。

<平本委員長>

サブページのアクセス分析を行うことは可能か。

<広報プロモーション課長>

可能である。基本的な分析であれば、外部への発注はしないため、ある程度の部分是对応できると考えている。分析するのであれば、可能な限り協力させていただく。

<平本委員長>

市民から、今回の子どもファーストクーポンの期限延長について、トップページの新着情報から該当ページを探したが見つけられないと言われた。高齢者お米購入応

援クーポンの利用拡大と期限延長についてはトップに見出しが出ているが、子どもファーストクーポンは「子ども事業」から該当ページまでたどっていかねばならなかった。新着情報に掲載するかどうかは所管が決めているのか。

<広報プロモーション課長>

9月22日付けで新着情報に上がっているが、次々と情報が更新される中で、下にいったしまったのではないかと考える。新着情報に載せるかどうかは所管で操作するが、重要な施策については上に上げたままにしておくなどの工夫が必要であると考える。

<三上委員>

トップページ以外はサブページという扱いなのか。議会のサブページを改善するために予算をかけた場合、どのようなことが実現できるのか。

<広報プロモーション課長>

一番上は市のトップページであり、その下にサブページがついている形である。サブページであることで、様々なカスタマイズが可能となり、予算をかければ様々なデザインも可能である。移住・定住のページでは、ターゲットに向けたデザインとし、見やすいページになっている。ターゲットに合わせたデザインや記事を書くことも可能である。

<平本委員長>

ホームページには、市のYouTubeのリンクが掲載されているが、市のYouTubeの更新頻度はくらいなのか。

<広報プロモーション課長>

市のYouTubeチャンネルは、公式チャンネル、KCOT、行政チャンネルの3つがある。動画を作るにはそれなりのテーマが必要であり、恥ずかしながら、更新がなかなかできていない状況である。移住の動画については、調査を実施している。動画を見た人、見ていない人に対してアンケートをとり、効果を確認している。動画の力はかなり強いと考える。今年度は広報としてInstagramに注力し、フォロワー1万人を目指して計画を立てているところである。

<竹内議員>

どのページの下にも「お求めの情報が充分掲載されていましてでしょうか」というアンケート調査があるが、どれぐらいの回答数があり、常に分析し反映されているのか。

<広報プロモーション課長>

アンケートがないと改善が図れないため、常にアンケートを取っている。今手元にどのぐらいの回答があったか、資料を持ち合わせていないが、数値で物事を捉えることは重要であり、満足度を測ることなども必要であると考えている。

<梅本議員>

例えばページの下に「このページをご覧いただいた方は他にこのようなページもご覧になられています」というように、次の導線に誘導するのも一つの方法だと思いませんか。

<広報プロモーション課長>

次々に関連する情報が入るような仕組みづくりは必要であると考えている。今のホームページでも、何か調べた後には「このページが多く見られています」という情報を左側に示している。

15:15

[理事者退室] 広報プロモーション課

## 8 その他

<平本委員長>

特になければ散会する。

散会 15:17